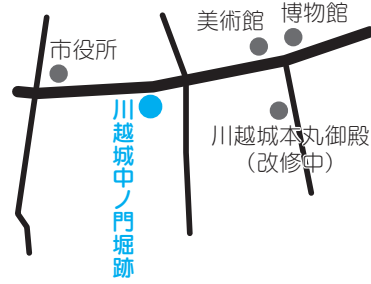


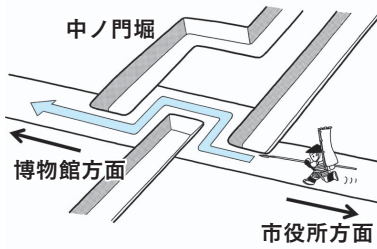
川越城中ノ門堀跡（郭町一丁目）

市役所前の通りを博物館へ向かう途中に、川越城の「中ノ門堀跡」があります。この堀は、寛永十六年（一六三九）に藩主となった、松平信綱の時代に造られました。

中ノ門堀は、敵が川越城の入口・西大手門（現在の市役所の辺り）から城内に侵入してきた場合を想定し造られた、防御施設です。西大手門側から進んできた敵を、中ノ門堀を含む三本の堀で阻み、本丸方面に直進させないようにしたものです。進撃の歩みが緩んだところに、城の兵たちが弓矢や鉄砲を射掛けるといった構造になっていました。



中ノ門堀の構造模式図



堀の発掘調査では、西側（西大手門側）と東側（本丸側）が分かりました。西大手門側で三〇度、本丸側で六〇度と、本丸側の堀は、壁のように切り立った状態となっていて、敵の行く手を阻んでいたのです。

現在、中ノ門堀跡では、堀の姿を後世に伝えるため、整備工事を進めています。

この春には、同工事が完成予定です。中ノ門堀跡に立ち、往時の川越城に、夢をはせてみてはいかがでしょうか。

市税納期のお知らせ

1月は、市県民税第4期・国民健康保険税第7期の納期です。

忘れずに納めましょう。

問い合わせ…収税課収税管理担当・TEL224-5686▶国民健康保険課国保収納担当・TEL224-5837

編集後記

どんぐり

年末に自宅の大掃除をしていたら、学生時代に愛読した本を見つけました。懐かしさで掃除は一時中断。ページをめくる度に、時がさかのぼります▶今はケータイで、小説を読む時代。情報も手元で簡単に取得できます。紙ではなく、インターネットを介した情報の入手が盛んになってきています。雑誌が廃刊となるニュースは、その影響かもしれません▶今年は「国民読書年」。愛読書をもう一度じっくり読んでみたいと思います。

世界の国から、こんにちは！



中国／張航くん(左)・林夏玉さん(右)

張くん(小学4年生)は遼寧省、林さん(中学1年生)は福建省の出身で、共に来日して3年です。日本語の勉強は、日本に来てから。学校の先生の勧めで、国際交流センターの日本語ジュニアクラスに参加。日本語を勉強している友達に会えたり、学校で習わない日本語を学んだりするので、毎週参加するのが楽しみです。将来の夢は、科学者になって発明をすること(張くん)、世界中の国に行って貧しい子供たちを助けること(林さん)です。

*「クラッセで日本語ジュニアクラス」は毎週土曜日、午後2時～4時、国際交流センター(クラッセ川越5階)で、小中学生を対象に開催されています。

国際交流課・TEL224-5506